

氏名	かたやま きよかず 片山 清和	職名	准教授（修士（工学））
専門分野	情報工学		
所属学会	情報処理学会、医療情報学会、日本糖尿病情報学会		
担当科目	データ統計処理、微分積分、専門演習 a、専門演習 c、インターネット論、基礎演習 a、コンピュータリテラシー、コンピュータ動作論、情報倫理、専門演習 b、専門演習 d、基礎演習 b、Webプログラミング a、プログラミング		
I 教育活動			
教育実践上の主な業績		概 要	
1. 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）		<p>コンピュータ実習科目では、講義で使用したスライドや資料を Moodle（本学 E-learning システム）にアップロードし、受講者がいつでも閲覧し、学習できるようにした。</p> <p>コンピュータリテラシーの講義において、例題を講義中に一緒に作成し、作成した例題を提出させた。また、例題で学習した操作を行う実習課題を課した。これによって、学生が操作法を身につけるだけでなく、講義に出席し注意深く講義を聞く姿勢を身につけるようにした。</p> <p>プログラミングの講義において、毎回の講義では、新しい内容に入る前に、前回に学習した内容を簡単にまとめるとともに、ミニ演習問題を用意し、問題を解くことで学生の理解を深めるように努めた。また、新しい内容を深く理解できるように、例題と複数のミニ演習問題を用意した。</p> <p>微分積分、データ統計処理の授業では、学生に公開している講義スライドでは、例題や練習問題のみを提示し、講義中に使用するスライドでは、問題を解く過程をステップバイステップで示し、解法の理解が深まるように工夫した。</p>	
2. 作成した教科書、教材、参考書		<p>プログラミングの講義において、各講義で復習の演習問題、例題、ミニ演習問題を合計 100 題程度作成した。これらの教材は受講者のレベルや理解度、講義のスピードに応じて、講義内容が無理なく自然に理解できるように配慮して作成した。</p> <p>データ統計処理の授業において、各講義で復習の演習問題、例題、ミニ演習問題を合計 50 題程度作成した。この教材は講義内容を理解、習得できるように配慮して作成した。</p> <p>微分積分の授業において、各講義で復習の演習問題、例題、事後学習課題を合計 150 題程度作成した。この教材は講義内容を理解、習得できるように配慮して作成した。</p> <p>情報倫理の授業において、学生の理解を考慮して教科書を作成した。</p>	
3. 教育方法・教育実践に関する発表、講演等		<p>学生の成績から見た遠隔授業の効果をオンラインで発表を行った。</p> <p>進路ガイダンス（2020 年 1 月 亀山高校，2020 年 12 月 徳風高校）</p>	
4. その他教育活動上特記すべき事項		なし	
II 研究活動			
学会発表			
発表（報告）名等	単独 共同	発表の年月	学会名等
遠隔授業による成績と意識の分化	共著	2021 年 3 月	大学教育研究フォーラム
III 社会における主な活動			
なし			